

平成 29 年度事業報告書の附属明細書

1 精神文化に関する研究及びその成果の普及

(1) 実用の学の研究及びその成果の普及

【大倉山講演会】

(共催：横浜市大倉山記念館指定管理者 会場：横浜市大倉山記念館ホール)

回	開催日	演 題	講師	参加人数
第 78 回	4 月 15 日	江戸時代の商人に見る企業の社会貢献活動の源流	小山巖也	75 人
第 79 回	5 月 20 日	「雪印」と「森永」の創業者 —キリスト教社会貢献論—	峯岸英雄	81 人
第 80 回	6 月 17 日	ゲンゼ・クラボウ・カネボウの経営者 —明治期企業家の経営思想にみる報徳思想 とキリスト教的価値観の融合—	長谷川直哉	84 人
第 81 回	3 月 17 日	大倉山記念館創建のこころざし —大倉邦彦の社会貢献活動—	平井誠二	56 人

(2) 東西文化融合の研究及びその成果の普及

【公開講演会】

(共催：愛知大学 会場：横浜市大倉山記念館ホール・附属図書館第 2 閲覧室)

回	開催日	演 題	講師	参加人数
第 15 回	7 月 8 日	太田道灌とその時代	山田邦明	105 人

(共催：岡倉天心市民研究会 会場：横浜市大倉山記念館ホール)

回	開催日	演 題	講師	参加人数
第 3 回	11 月 25 日	美術雑誌『国華』の創刊と岡倉天心	角田拓朗	55 人

【港北図書館公開講演会】

(主催：港北図書館友の会・公益財団法人大倉精神文化研究所 会場：港北図書館会議室)

開催日	演 題	講師	参加人数
6 月 11 日	杉山神社の謎の解き方	平井誠二	66 人

【その他】

(3) 創立者及び研究所関連資料の研究・調査とその成果の普及

沿革史資料の整理作業は、データベース登録点数 24,078 点になりました。それとは別に、書簡 17,806 点、葉書 6,742 点まで登録しました。

研究・調査の一環として、横浜市立図書館、日本伝統文化振興財団、早稲田大学等 30 機関・団体等へ計 45 回出張しました。

エ 資料の展示

【研究所資料展】

回及び開催場所	開催時期	テーマ	入場者数
第 35 回研究所資料展 (附属図書館)	8月2日～10月21日 (53 日間)	白亜の殿堂 大倉山に現る ～新発見の資料からよみ解く～	1,076 人
第 36 回研究所資料展 (附属図書館)	11月1日～4月14日	変貌する地域、港北の地図展	開催中

【企画展示会】 (協力：港北図書館・港北図書館友の会)

開催場所	開催時期	テーマ	入場者数
第 13 回特別資料展 (港北図書館)	6月2日～7月17日 (45 日間)	大倉精神文化研究所附属図書館の 貴重コレクション展	—

* 展示会場がオープンスペースのため、入場者数はカウント出来ません。

(4 印刷物の編集及び発行・電子情報の発信)

ア 研究紀要『大倉山論集』の編集及び発行

第 64 輯 (A5 判 361 頁 600 部 平成 30 年 3 月刊行)

論説

江戸山の手質屋伊勢屋長兵衛と幕府・大名 一用立・饗応・勝手向奉公一	岡崎寛徳
幕末・明治における新井白石著作の蒐集 一埼玉の「好書家」小室元長と白石社一	古畑侑亮
明治時代の高等女学校と服装論議—女子生徒の着袴—	刑部芳則

小特集 実業家の社会貢献とその理念

特集にあたって	公益財団法人 大倉精神文化研究所
御木本幸吉の二宮尊徳顕彰	飯森富夫
クリスチャン実業家の軌跡—「白洋舎」創業者・五十嵐健治—	峯岸英雄

覚書

足守木下家文書「公家衆御馳走初中後之覚」について —高家吉良上野介への伺書—	小林輝久彦
---	-------

資料紹介

栄力丸漂流記『東西異聞 人』複写版の翻刻(部分)と解題	茂住實男
故小森嘉一氏旧蔵資料目録	林宏美

報告

展示会「白亜の殿堂 大倉山に現る一新発見の資料からよみ解く一」

星原大輔

展示会「変貌する地域、港北の地図展」

平井誠二・星原大輔

受贈図書一覧

所報

2 地域における歴史・文化の研究及びその成果の普及

(1) 他機関との連携事業

大熊弁玉顕彰会、横浜市大倉山記念館指定管理者、鶴見川流域センター等 12 団体・機関と連携して、講演会の開催や資料の貸し出し等を行いました（前掲分は省略）。

4月29日 大熊弁玉顕彰会主催の第2回ゆらむろ忌を後援

9月24日、2月11日 横浜市大倉山記念館指定管理者主催のオープンデイを共催

8月2日～8月20日 横浜市大倉山記念館指定管理者主催の「～近代建築のガラパゴス～大倉山記念館の魅力と秘密」を共催

8月5日、8月19日 横浜市大倉山記念館指定管理者主催の今昔建物サロンを共催

8月20日 小机城フォーラム実行委員会主催の「小机城フォーラム2017」を共催

8月20日、8月27日 タゴールソングワークショップに協力

11月1日～11月5日 大倉山秋の芸術祭実行委員会主催の第33回大倉山秋の芸術祭の後援

2月27日～平成31年2月17日 坂の上の雲ミュージアム第12回企画展「明治青年 秋山真之」に沿革史資料を貸し出し

(2) 講師派遣（他機関・団体からの依頼講演・授業等）

【悠遊会】

5月13日 横浜市大倉山記念館にまつわる物語

平井誠二

【港北の昔ばなし紙芝居の会「たまたばこ」】

5月31日 港北の昔ばなし あれこれ

平井誠二

【港北区地域振興課】

5月30日 戦国時代の小机城

林宏美

【港北区福祉保健課】

7月6日 もっと知りたい！「わがまち港北」ヒストリー

平井誠二

【新羽小学校土曜塾】

7月29日 パネルによる鶴見川の歴史解説

平井誠二・星原大輔

【港北区小学校教育研究会】

8月21日 地域社会について学ぶために

平井誠二

【港北区地域振興課】

10月13日 杉山神社の歴史を学ぶ

平井誠二

【港北区役所】

11月15日 「地域わかりマス2017」の具体的な活用方法と
地域課題の見つけ方 平井誠二

【地域防災施設鶴見川流域センター】

11月23日 小机の歴史と魅力について 平井誠二

【明治神宮国際神道文化研究所】

12月8日 明治天皇と藤波言忠・西忠義一日高牧場の源流を訪ねて—
貴重資料「御逸事」の内容について 平井誠二

—もう一つの「明治天皇紀」— 星原大輔

【大豆戸地域ケアプラザ】

1月17日 地域わかりマス講座、大倉山地区 平井誠二

【佐賀県自治修習所】

2月2日 維新の志士 江藤新平 星原大輔

【大豆戸地域ケアプラザ】

2月21日 地域わかりマス講座、菊名地区 平井誠二

【大曾根小学校】

2月2日 3年生授業 平井誠二

【東洋大学浦水会神奈川県支部】

2月17日 東洋大学と大倉邦彦 平井誠二

【明治神宮崇敬会横浜港北支部】

2月25日 変貌する港北—皇室と港北のご縁— 平井誠二

【小机城址まつり実行委員会】

3月4日 小机城の歴史と魅力を語る 平井誠二

(3) 依頼原稿の執筆

『楽・遊・学』港北区区民活動支援センター情報紙、連載「シリーズわがまち港北」に執筆

第220回（4月1日） 12年に一度の霊場巡り—その8— 平井誠二

第221回（5月1日） 12年に一度の霊場巡り—その9— 平井誠二

第222回（6月1日） 地域資料の収集と公開 平井誠二

第223回（7月1日） 師岡地区—地域の成り立ち、その13— 平井誠二

第224回（8月1日） 横浜ゆかりの歌手 渡辺はま子さんと菊名
—終戦秘話その24— 林宏美

第225回（9月1日） 古い資料からの新しい発見—終戦秘話その25— 林宏美

第226回（10月1日） 港北のお城と館—その1、中田加賀守館— 平井誠二

第227回（11月1日） 港北のお城と館—その2、大曾根の3館— 平井誠二

第 228 回 (12 月 1 日)	港北のお城と館—その 3、小幡泰久屋敷—	平井誠二
第 229 回 (1 月 1 日)	港北のお城と館—その 4、篠原城—	平井誠二
第 230 回 (2 月 1 日)	港北のお城と館—その 5、佐々木高綱館—	平井誠二
第 231 回 (3 月 1 日)	港北のお城と館—その 6、小机城の 1—	平井誠二
	『大倉山 STYLE かわら版!』ASA 大倉山情報紙、連載「大好き!大倉山」に執筆	
第 13 回 (4 月 15 日)	春爛漫!花と緑をたのしもう	林宏美
第 14 回 (5 月 15 日)	記念館坂の桜の木	林宏美
第 15 回 (6 月 15 日)	まこも池の首切り伝説	平井誠二
第 16 回 (7 月 15 日)	師岡に勅使が来た?	平井誠二
第 17 回 (8 月 15 日)	あっ!勅使のアブミが…	平井誠二
第 18 回 (9 月 15 日)	大豆戸の「大」はなんですか? —地名のナゾ、その 1—	平井誠二
第 19 回 (10 月 15 日)	帆船日本丸と大倉山—祝!重文指定—	林宏美
第 20 回 (11 月 15 日)	マメドの語源は?—地名のナゾ、その 2—	平井誠二
第 21 回 (12 月 15 日)	師岡熊野神社の筒粥神事	平井誠二
第 22 回 (1 月 15 日)	師岡のもろ—地名のナゾ、その 3—	平井誠二
第 23 回 (2 月 15 日)	梅林と観梅会の始まり —大倉山はじめて物語、その 5—	平井誠二
第 24 回 (3 月 15 日)	二つの菊名駅—大倉山はじめて物語、その 6—	平井誠二

(4) 調査協力・記事掲載

『横浜日吉新聞』4月8日、7月22日、8月2日、1月23日、3月19日

『日本歴史』7月号、8月号、10月号、1月号

SPP 社内広報誌『MUGEN』Vol.21 (11月20日)

『タウンニュース』5月4日、6月29日、7月27日、8月31日、11月16日、12月7日、
1月1日

『地方史研究』6月号、8月号、10月号

『日刊スポーツ』大倉山観梅会特別号、2月

『大倉山きつず新聞』3号

『読売新聞』4月15日、2月22日夕刊

『朝日新聞』4月12日、6月14日、12月5日、1月23日、3月14日

『仏教タイムス』4月6日、5月11日、6月8日、6月29日、11月16日

『定年時代』6月号、7月号、8月号、11月号、2月号、3月号

『神奈川新聞』5月16日、3月19日

『新横浜新聞』5月12日、8月2日、11月11日

『東京新聞』5月16日

『佐賀新聞』 9月23日、11月4日
 古沢保『風景印かながわ探訪』（彩流社、11月）
 YOUテレビのニュース 3月5日～11日

(5) 見学案内

新羽地区保健活動推進員 9月7日
 横浜シティガイド協会 10月25日
 オトナの部活しつらい 1月31日

3 附属図書館の運営及び図書資料の充実・整備

(1) 図書館の公開

【29年度図書館利用の実績】

開館日数	入館者数	開架図書貸出冊数	閉架図書閲覧冊数	複写枚数
247日	6,855人	4,942冊	200冊	1,483枚

- ・蔵書検索アクセス数：289,763件
- ・図書館貸出カード登録者数：190人（累計1,441人）
- ・レファレンス件数：35件

(2) 資料の収集

【29年度受入図書実績】

	閉架図書			開架図書		
	購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計
受入総冊数 1,530冊	61冊	556冊	617冊	460冊	453冊	913冊

29年度末蔵書冊数：図書・AV資料総数：105,138冊・点
 （閉架書庫82,351冊・AV資料205点・開架図書22,582冊）

(5) 図書館のPR

イ 収蔵資料の紹介展示

(ア) 図書館資料展（館内展示ケース）

	タイトル	期間	入場者数
第18回 (継続)	貴重コレクションを探るシリーズV 『金沢甚衛旧蔵史料よりー遠山金四郎役託日記』	4月1日～7月31日	1,705人
第19回	貴重コレクションを探るシリーズV 『金沢甚衛旧蔵史料よりー仙台藩御軍紀』	6月6日～7月31日	803人

第20回	貴重コレクションを巡るシリーズⅤ 『信念の人 大倉邦彦』	8月8日～10月31日	1,109人
------	---------------------------------	-------------	--------

(イ) ミニ展示（館内ブックトラック、貸出カウンター横テーブル）

タイトル	期 間	入場者数
大倉山講演会関連 『江戸時代の商人に見る企業の社会貢献活動の源流』	4月14日～28日	242人
図書館ミニ展示 『タゴールの著作と人物像』	5月2日～5月31日	385人
大倉山講演会関連 『雪印と森永』	5月9日～5月31日	330人
大倉山講演会関連 『グンゼ・クラボウ・カネボウの創業者』	6月6日～7月1日	404人
愛知大学との共催による講演会関連 『太田道灌とその時代』	7月4日～7月29日	399人
研究所資料展関連ミニ展示 『大倉邦彦』	8月8日～10月31日	1,109人
図書館ミニ展示ー秋芸ワークショップ関連 『歳時記と厄除け』	11月1日～1月31日	1,474人
研究所資料展「変貌する地域、港北の地図展」 関連 『港北の歴史』	11月1日～3月31日	3,958人
図書館ミニ展示 『花を訪ねて』	2月1日～3月31日	2,484人

(ウ) 館外展示（館外展示ケース）

内 容	期 間
貴重コレクションより 『金沢甚衛旧蔵史料よりー遠山金四郎役託日記』	4月1日～7月31日

(エ) 閲覧室展示

内 容	期 間
大型本展示『法隆寺壁画』『椋嶺花鳥画譜』『傳真言院兩界曼荼羅』	2月11日、18日

ウ 大倉山記念館や地域の行事に連動したイベント

- ① 鶴見川スタンプラリーに協力：4月28日～10月31日
- ② 港北区読書フェスティバル・スタンプラリーに協力：11月1日～30日
- ③ 大倉山秋の芸術祭 11月1日～5日
 - ・リユース文庫に89冊提供
 - ・大倉邦彦蔵書印しおりの配付
 - ・消しゴムの配付
 - ・「港北の伝統行事 注連引きのワラ蛇を作って厄除けを！」11月1日 9人参加
 - ・休日の臨時開館：11月3、5日
- ④ 大倉山記念館オープンデー 臨時日曜開館：9月24日、2月11日
- ⑤ 大倉山観梅会 臨時日曜開館：2月18日
- ⑥ 港北図書館友の会へ書籍380冊を寄贈し、図書再利用活動の支援をしました。